

2026

5

May
No. 399

広報

みしま



春風が心地いい日。
保育所の子供たちが自分たちで作った鯉のぼりを、空高く掲げていました。

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

小学校入学式 希望に満ちた第一歩

新入学生の皆さんへ

【赤津功校長】

小学校は、新しい発見や「できた」ということがあふれている場所です。

諦めず続けることが力となります。

笑顔、夢、チャレンジする心を大切に、失敗を恐れず自ら一歩を踏み出してほしいです。



4月6日に小学校で入学式が行われました。

新入生たちは少し大きめのランドセルを背負い、期待と緊張の面持ちで登校しました。式では一人ひとりの名前が呼ばれ、元気に返事をしていました。



ご入学おめでとうございます

1	いたばし ことは 板橋 采生	3	すずき まお 鈴木 麻央
2	かわい ふみちか 川合 史周	4	めぐろ ともはる 目黒 智悠

中学校入学式 新たなステージへ

ご入学おめでとうございます

1	あおき たいち 青木 大知	6	すずき ひでたか 鈴木 秀生
2	いがらし よしと 五十嵐 義翔	7	すずき ひびき 鈴木 響希
3	おおたけ しんたろう 大竹 真太郎	8	はた なお 秦 直央
4	かね こしずく 金子 雫	9	わかばやし はる 若林 晴琉
5	さくま ゆいと 佐久間 結人		

同日、中学校でも入学式が行われました。

新入生たちは式に臨み、式辞や歓迎の言葉を真剣に受け止めていました。

式は厳粛な雰囲気の中で進行し、新入生は中学校生活のスタートを迎えました。

新入学生の皆さんへ

【小向恵子校長】

この度入学される皆さんは、三島の豊かな自然に見守られながら、只見川のように悠々とした広い心を育んでください。

優しい先輩方、先生方と一緒に、人との温かい付き合い方を学び、皆で居心地のいい学校を作り上げていきましょう。



「希望を胸に新たな一歩！」

～保育所・小・中学校で入所・入学式～

春の訪れとともに、三島町の保育所、小学校、中学校で入所式・入学式が行われました。

新しい環境に胸を膨らませた子どもたちが、それぞれの学び舎で新たな一歩を踏み出しました。式では、先生方や来賓から励ましの言葉が贈られ、子どもたちの健やかな成長とこれからの活躍を願いました。

町では、未来を担う子ども達が安心して学び成長できる環境づくりに、今後も努めてまいります。

保育所入所式 元気いっぱいのスタート

4月4日、保育所で入所式が行われました。

子どもたちは、少し緊張しながらも保護者とともに式に臨みました。先生から名前を呼ばれると、元気に返事をする姿が見られ、会場は温かい雰囲気に包まれました。

入所される皆さんへ

【大竹真理子所長】

保育所は、一人ひとりの気持ちを大切に、「ここに来るとホッとする」と感じられる場所でありたいと願っております。

子どもたちが安心して過ごし、のびのびと成長していけるよう、職員一同、温かく見守ってまいります。

きりんぐみ(5・6歳)		ぼんだぐみ(3・4歳)		りすぐみ(1・2歳)	
1	かとり れん 鹿狹 煉	1	すずき さよ 鈴木 咲葉	1	にし はな 西 花奈
2	たるい ゆきもり 樽井 倅盛	2	やまぐち あつき 山口 純生	2	いたばし ももはる 板橋 百春
3	みうら こうたろう 三浦 孝太郎	3	あべ にいな 阿部 彩七		
		4	まつざき よう 松崎 葉		



「自転車の新しい制度！」

免許はなくてもドライバー
～ルールを守って責任ある運転を～

自転車の交通反則通告制度(青切符)の導入目的

4月1日からの青切符制度の導入は、近年、自転車の交通違反や事故が増加していることから、自転車利用者の交通ルールを守る意識を高め、事故を未然に防ぐことを目的としています。

自転車は「軽車両」とであるという認識を持ち、一人ひとりが責任ある行動をとることが求められます。

青切符とは？

青切符とは、比較的軽微な交通違反に対して反則金の納付を求める制度です。

これまでは自転車の違反に対しては「指導・警告」や「赤切符(刑事処分)」が中心でしたが、今後は一定の違反について反則金が科され、**16歳以上(高校生含む)**が対象となります。

対象となる主な違反

信号無視(反則金目安:6,000円)
指定場所一時不停止(反則金目安:5,000円)
通行区分違反(右側通行・逆走)(反則金目安:6,000円)
携帯電話使用等(ながらスマホ)(反則金目安:1万2,000円)
遮断踏切立ち入り(反則金目安:5,000円～)
傘差し運転(反則金目安:5,000円)
無灯火(反則金目安:5,000円)
イヤホンをつけて周りの音が聞こえない状態での運転(反則金目安:5,000円)

安全に利用するために

車道の左側を通行する。
交差点では必ず安全運転する。
夜間はライトを点灯する。
ヘルメットを着用する。



4月16日に小学校で実施された交通安全教室。会津坂下警察署三島駐在所の樽井所長より、「みんなが正しい交通ルールを守り、事故にあわないように」と、自転車の正しい乗り方と安全指導がありました。

町民の皆さまへのお願い

自転車は便利で身近な移動手段ですが、一歩間違えば重大な事故につながります。ルールとマナーを守り、安全で安心な交通社会の実現にご協力をお願いします。

「新たな防災気象情報！」

～5段階の警戒レベルで避難判断をわかりやすく～

気象庁は、新たな防災気象情報の運用を5月29日から開始すると発表しました。防災気象情報の運用の変更は、避難の判断をわかりやすくするねらいがあります。

現在の河川の氾濫、大雨、土砂災害、高潮に関する情報などは、警戒レベルとの関係が複雑で、わかりにくい面がありました。

今回の改善により、避難情報の5段階の警戒レベルに対応し、市町村が発令する避難指示などの避難情報や、住民がとるべき避難行動との関係がわかりやすくなります。

レベル5～1で表現統一、レベル4「危険警報」で全員避難を

新しい防災気象情報では、それぞれの災害でレベル5が特別警報、レベル4が危険警報、レベル3が警報、レベル2が注意報という4段階に表現を統一し、警報級の現象が5日先までに予想される「早期注意情報」をレベル1としました。

レベルは、自治体が避難情報を出す際の指標に対応しており、レベル5は命の危険があり、ただちに安全を確保する「緊急安全確保」に相当。レベル4は危険な場所から全員避難することが求められる「避難指示」。レベル3は避難に時間がかかる人が早めに逃げる「高齢者等避難」にあたります。

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

情報を活用し、命を守る行動につなげましょう！

新たな防災気象情報の運用が開始され、住民の皆さまにとって分かりやすく、迅速な避難行動につながる情報提供が行われます。

この情報は、従来の警報や注意報に加え、危険度を直感的に把握できるよう改善され、災害の危険性をより具体的に伝えるものです。大雨や台風時は、警戒レベルに応じた早めの行動が重要です。

三島町でも、これらの情報を活用し、防災計画の見直しや避難計画への反映を進め、安全確保に努めてまいります。

日頃から気象情報に注意し、避難場所や経路を確認するなど、いざという時に命を守る避難行動につなげましょう。

警戒レベル	対応
レベル5 特別警報	<ul style="list-style-type: none"> すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。 今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。
レベル4 危険警報	<ul style="list-style-type: none"> 危険な場所から全員避難する。 ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了する。
レベル3 警報	<ul style="list-style-type: none"> 避難に時間がかかる高齢者等は危険な場所から避難する。 高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難をする。
レベル2 注意報	<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップ等で災害リスクを再確認する。 自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する。
レベル1 早期注意情報	<ul style="list-style-type: none"> 災害への心構えを一段高める。 職員の連絡体制を確認する。

滝谷建設工業株式会社から町へご寄附がありました



▲左から矢澤町長、田中智仁代表取締役、板橋康宏常務取締役

4月13日、滝谷建設工業株式会社（代表取締役田中智仁氏）様より、本町に対し多額のご寄附を賜りました。

この寄附は、三島町の町政発展のために是非役立てていただきたいとのご厚意によるものであり、心より御礼申し上げます。

いただきました寄附金は、地域活性化事業など、町の発展に資する施策へ大切に活用させていただきます。

今後も、地域の皆様や企業の皆様との連携を深め、より一層魅力あるまちづくりに努めてまいります。

三島町消防団防火パレード ～春の火災予防運動～



▲役場を出発するパレードの車列

春季火災予防運動の一環として「春の防火パレード」を4月5日に実施しました。

当日は、消防団幹部役員をはじめ、宮下班、桧原班、滝谷班の団員と消防車両が参加しました。また、会津坂下警察署三島駐在所や会津坂下消防署三島出張所など関係機関の協力のもと、各地区を巡回し、火災予防の重要性を呼びかけました。

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。一人ひとりが防火意識を高め、火災のない安心・安全なまちづくりにご協力をお願いします。

また、パレード終了後は消防団幹部による幹部会を開催し、新たに任命された班長や団員の紹介のほか、新年度事業について協議しました。

地域の皆さまの安全を守るため、消防団は今後も活動を続けてまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

（第9期）生活工芸アカデミー開講式が行われました

4月14日、三島町生活工芸館において、「生活工芸アカデミー」の開講式が行われました。

本アカデミーは、地域に根付く生活工芸の技術や文化を継承するとともに、地域活性化の担い手を育成することを目的として開講されたものです。式では、関係者から受講生へ激励の言葉が贈られ、受講生はこれから始まる学びに向けて決意を新たにしていました。

今後は、三島町の伝統工芸である編み組の技術習得や材料採取を行うほか、地域の方々との交流を深めながら、農作業研修などにも取り組んでいきます。



▲アカデミー生の紹介はP13になります。

カタクリ・さくらまつり

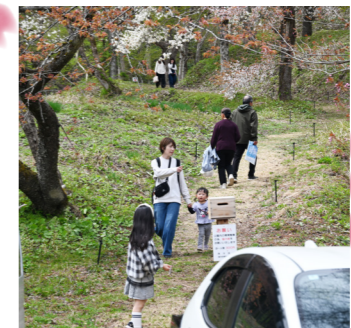
4月18日・19日、大林ふるさとの山において「カタクリ・さくらまつり」が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

今年は気温の影響により見頃が例年より早まり、まつり当日は桜吹雪が舞う中での開催となりました。それでも会場には、春の里山の風景を楽しもうと多くの人々が訪れ、地元特産品の販売や来場者同士の交流を通じて、終始和やかな雰囲気になっていました。訪れた方は、山の斜面に残る桜や新緑に彩られた里山の景観を楽しむ姿が見られました。

町では、今後もカタクリや桜など春の魅力ある地域資源を生かした取り組みを進め、多くの方に足を運んでいただけるよう努めてまいります。来年の開催では、色とりどりの花々が咲き誇る中、さらなるにぎわいが期待されます。



▲地元の方と交流しながら、地元特産品を購入する来場者



▲桜吹雪舞う中、山に残る春の彩を楽しむ来場者

パンフレット みしま版 家庭菜園のすすめ



奥会津三島ブランドPR推進協議会では、パンフレット「みしま版家庭菜園のすすめ」を作成しました。

このパンフレットは、三島町内で育てやすい野菜や町民の方へのインタビュー、これまで協議会が取り組んできた鶏糞堆肥化の取り組みをもとに家庭でできる堆肥づくりなどを分かりやすく紹介しています。

また、町で推進するキエーロによる生ごみの減量や遊休農地プロジェクトの取り組みなどにも触れています。

野菜づくりを通じて様々な良い効果が期待される家庭菜園について初心者の方でも分かりやすく読みやすい内容となっております。

パンフレットは産業建設課で、無料配布しておりますので、ご希望の方はお問い合わせください。



問 産業建設課 ☎ 48(5566)

三島町統計調査員 五十嵐稔氏 農林水産大臣表彰受章しました

三島町統計調査員の五十嵐稔氏が、令和7年福島県統計功労者表彰式において農林水産大臣表彰を受章されました。

五十嵐氏は、昭和54年から現在に至るまで三島町統計調査員として活動し、これまでに39回の基幹統計調査に従事されています。

農林業センサスでは、調査員として4回、指導員として2回従事されました。

各種調査においては、内容や方法を十分に理解し、正確な調査結果の確保に尽力されてきました。また、自身の担当地区にとどまらず、他地区でも調査員・指導員にもあたり、その姿勢は他の調査員の模範となっています。今後のさらなるご活躍が期待されます。



農林業センサス	農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成し、提供することを目的に、5年ごとに行う調査
---------	--

町民記者通信



三坂の山から（3月28日）

菅家 寿一さん

反射板のあるあの山を見ていると、登ってみたいくなりませんか。校歌にも歌われる町のシンボル・三坂山です。3月28日の晴天のもと、今年は6名で登りました。

美坂高原の駐車場まで車で入ることができ、そこから歩行を開始しました。雪はあまり締まっておらず、すぐにかんじきを着用しました。高原内を会話をしながら歩くと、あっという間に登山口に到着します。公社造林地を過ぎると、美しいブナ林の中を進みます。

ゆっくりと会話を交わしながら歩き、約2時間半で山頂に到着しました。遠くには飯豊山や吾妻連峰、磐梯山などが望め、沼沢湖の先には浅草岳や御神楽岳の真っ白な姿が広がっていました。眼下には第2鉄橋や宮下、桑原、大登、名入の集落が美しく見渡せました。

山々に囲まれた町並みを眺めながら、これからの三島について語り合い、昼食の時間となりました。別の日に行われたかんじきトレッキングに参加された方からいただいたハムを使ったサンドイッチのほか、あんパンやおにぎり、峠の茶屋のコーヒー、漬物、いちごなどを味わい、楽しいひとときを過ごしました。

この活動は、間方や三島町を応援して下さる「かしや猫クラブ」の研修の一環として実施しています。

皆さんも、町のシンボル・三坂山に登ってみませんか。そして、美しい町並みを眺めながら、これからの三島について考えてみてはいかがでしょうか。

下山後は、桐の里倶楽部の湯に浸かり、疲れを癒しました。



三島町鳥獣被害対策実施隊員が委嘱されました

4月14日、町長室において、「三島町鳥獣被害対策実施隊員」の委嘱式が行われ、矢澤町長より隊員に委嘱状が交付されました。

実施隊員は、町内に出没するクマやイノシシ、シカなどによる農作物等の被害防止と地域の安全確保を目的として、有害鳥獣の捕獲等に関する活動に取り組んでいます。

町民の皆さまにおかれましても、農地周辺の管理や生ごみの適切な処理など、鳥獣を引き寄せない環境づくりにご協力をお願いいたします。



▲17名の隊員を代表し、三井康二さん（左）、菅家藤一隊長（中央）、鈴木亮さん（右）が委嘱交付式に臨みました。

新しいALT ボンバー・モンテロン先生です

新しいALT（外国語指導助手）のボンバー・モンテロン先生を紹介します。

ボンバー先生は、フィリピンの中学校で17年間英語を教えた経験があります。

現在は小・中学校での授業を行い、6月からは保育所やゆめぼけっとも、子ども達に英語を教えてくださいます。

三島町については、次のような感想をいただきました。

ボンバー先生と子ども達が、英語をとおしてどのような交流と学びを育んでいくのか、今から楽しみです。

三島町の方からは、家族のように優しく接していただきました。第2のふるさとのように感じており、異国に一人寂しくいる感じはありません。夢であった日本で英語を教える機会をいただけましたので、ベストを尽くし頑張ります。



年齢	39歳
出身	フィリピン（セブ島）
趣味	アニメ鑑賞
好きな日本食	唐揚げ

桐製ドミノが保育所へ 佐久間建設工業株式会社からプレゼント！

4月20日、佐久間建設工業株式会社（代表取締役社長佐藤岩男氏）より、保育所の子どもたちへ「三島の桐で作ったドミノ」が寄贈されました。佐藤社長からは「お友達やお家の方と元気に遊んでください」と温かい言葉が添えられました。

今回寄贈されたドミノは、同社が桐製フローリングを製造する際に出る端材を、地域貢献と資源の再利用（SDGs）の観点から活用して作られたものです。

桐は非常に軽く、防虫性に優れ、手に触れると温かみを感じられる素材です。しかし近年は桐を育てる人が減少し、貴重な木材となっています。幼い頃から桐に触れ親しむことで、子どもたちが森や木との関わりを自ら考えられる豊かな大人へと成長してほしいという願いが込められています。





【早戸】早戸温泉遊歩道MAP(改訂版)ができました

橋本 光五郎さん

早戸地区では、東北芸術工科大学と佐久間建設工業株式会社そして地区の三者が協力して早戸温泉遊歩道の整備活動を行っています。

令和7年度の活動では、国道側(旧盛川屋跡地)から只見川畔の遊歩道につながる新ルートを整備しました。その成果を反映させた「遊歩道MAPの改訂版」を東北芸術工科大学の学生さんの協力で作成しました。MAPは「つるの湯」や「三島町観光交流館からんころん」等に置いてあります。

これからの季節、つるの湯で「温泉浴」を楽しむとともに、MAPを片手に遊歩道を歩き、山野草の花々や野鳥の鳴き声を楽しみながら「森林浴」でより心と体のリフレッシュを図ってください。



▲早戸マップ2025(表)



▲早戸マップ2025(裏)

【西方】安心安全を目指す地区総会(3月29日)

本名 与四郎さん

3月29日午前10時から、西方ふるさとセンターにおいて「西方地区総会」が開催されました。

はじめに、区長の小柴茂さんからあいさつがあり、去年は積雪量が少なかったものの、地区として継続的に体制を整え、除雪に取り組んできたこと、今後も除雪対策の強化に努めていくことが述べられました。また、カタクリ繁殖地の整備や盆踊り、豊年踊りなどの各種行事に取り組みながら、「楽しく安心できる地区づくり」を目指して活動していくとの抱負が語られました。

続いて行われた協議では、事業報告および事業計画、一般・特別会計の収支決算と予算案など、多岐にわたる議題について慎重な審議が行われました。各議題に対しては、地区住民から建設的で率直な意見や質問が多数寄せられ、充実した実りある総会となりました。



「住民の ころの叫び 地区総会」
「楽しくて 安心できる 地区づくり
アイデアある人 この指止まれ」

【早戸】早戸地区総会を開催(3月29日)

橋本 光五郎さん

さる3月29日10時から、早戸生活改善センターで早戸地区の総会が開催されました。

総会では区長から1年間の活動報告、令和7年度の決算報告が報告され、質疑応答の後原案どおり承認されました。続いて令和8年度の活動予定と予算案が審議され、これも質疑応答の後、原案どおり承認されました。また、令和8年度の地区役員体制についても提案どおりに承認されました。

最後に、年度はじめに町へ提出する地区要望についても話し合わせ、生活上困っていることなど色んな課題が出され、それらを新役員会でまとめた上、町に提出することとなり、無事総会は終了しました。



【西方】ふるさとセンター冬囲い外し(4月4日)

本名 与四郎さん

4月4日の午前8時30分より地区委員による、みんなの広場である「ふるさとセンター」の冬囲い撤去作業が行われました。

作業当日は昨日のような雨風は収まり、曇天の天候の中、作業が開始となりました。

今年は、例年になく積雪量が少なく、もうすでに「ふるさとセンター」周辺には残雪はありませんでした。冬囲いの板や固定されていた接続パイプ管を傷つけないように、丁寧に取り外す作業を手際よく行われました。



「雪囲い 十一月まで 無職です」 「地区委員 雪囲い外し 一時間あっという間に 片付け終わる」

【桧原】春日神社祭り(4月11日)

阿部 和彦さん

桧原地区、春日神社「春の例大祭」が神社本殿において、正午から神社総代4名、地区役員7名、地区住民1名が参加して実施されました。

朝早くから神社総代による参道周辺の枝の片づけや本殿の清掃が行われ、阿部時夫新総代長と杉原慶志区長が玉串奉奠後に地区の繁栄、五穀豊穡、健康と平和を祈願しました。

その後、宮司から春祭りと秋祭りの祝詞の違いの説明など、ありがたいお話を聞き、直会では今年一年の抱負や願い事を話して、桜と青空のもと、各自解散しました。



観光交流館 からんころん

第182号

〔三島町観光協会・観光交流館からんころん〕
営業時間 8:30～17:30 定休日/月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下214-5
☎0241(48)5000 FAX:0241(42)7072 メール:mishima@oboe.ocn.ne.jp



6月開催の三島町大イベント

【開催日時】

6月13日(土)・14日(日)

13日 9:00～16:00

14日 9:00～15:00

- 「ふるさと会津工人まつり」 生活工芸館前ナラ林
- 「山と木の市場」 佐久間建設工業(株)森林事業部敷地内
- 「てわっさの里まつり」 宮下・荒屋敷地区
- 「宮下そばまつり」 宮下活性化センター
- 「美しい手しごと展」 宮下温泉栄光館

三島町・奥会津関連の行事・イベント情報

- 5/2・3 手づくりマルシェKISSE/工人の館
- 5/5 鬼子母神例大祭/西隆寺(西方地区)
- 5/16 桐の里ウォーク～只見線にみんなで手をふるう～
- 5/23 春の恵み!新緑只見線
- 5/28 只見線沿線の美しい旅
- 6/7 志津倉山開き/志津倉山
- 6/13・14 ふるさと会津工人まつり
- 【開催中】 長谷川雄一追悼展/交流センター山びこ
- 【只見線】 トロッコ列車「風っこ只見線満喫号」
- 〔運行日〕5/2～6、9・10、16・17、24

5月のからんころん茶屋・イベント広場のキッチンカー

営業日	出店者	メニュー
9・10日(土・日)		並盛 700円(税込)
23・24日(土・日)	みやしたそばの会	大盛 1,000円(税込)
時間 11:00～14:00	宮下荒屋敷地区有志の皆さん	特盛り 1,200円(税込)
※売切れ次第終了		特々盛り 1,500円(税込)

営業日	出店者	メニュー
3日(日)	中国風カフェ ティー・まこと 茶吧 誠	中国茶、菓膳茶 400円(税込)～ 点心(軽食) 100円(税込)～ 飲茶セット 700円(税込)～

キッチンカーは上記以外の日に臨時営業する場合もございます。

新採用職員紹介

氏名：渡部 美樹
年齢：38歳
出身：三島町（大石田）

町民課町民係



昨年度まで、会計年度任用職員として町民課に所属していました。一日も早く業務を覚え、町民の皆様のお役に立てるよう誠心誠意努めてまいります。町内や窓口などでお見かけの際は、ぜひお気軽にお声がけいただけますと幸いです。

氏名：柴沼 幸子
年齢：52歳
出身：茨城県ひたちなか市

生活工芸アカデミー生
（地域おこし協力隊）



はじめまして。浅岐地区での暮らしに少しずつなじみながら、編み組などを学んでいけたらと思っています。どうぞよろしくお願いします。

氏名：浅田 晴香
年齢：29歳
出身：山形県山形市

生活工芸アカデミー生
（地域おこし協力隊）



昔ながらの生活に不思議な新鮮さを覚えています。編み組細工や畑仕事に関わり、人の生き方そのものを学んでいけると感じます。初めてのことばかりですが、三島町とのご縁を大切に、日々奮闘していきます。

氏名：長谷川 聡子
年齢：37歳
出身：愛知県小牧市

生活工芸アカデミー生
（地域おこし協力隊）



自然の素材で作る編み組細工の技術を学べるこの機会に感謝しています。三島町の自然や、地域の皆さんのあたたかさに触れながら一日一日を大切に過ごしていきたいです。

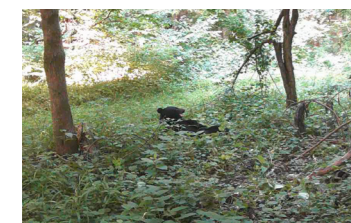
「クマは両方！しかし？」
クマは味噌も醤油も好きで、昨年は味噌を保管する小屋の戸板が破られ、味噌を入れた樽を持ち去られるという

皆さん、こんにちは。鳥獣対策専門員の鈴木です。今回のお題はラーメンの話…ではなく、動物たちの「好み」についてご紹介いたします。
「シカは醤油派！」
ある時、わな制作会社の方から「シカを誘き寄せるには醤油が良い」という話を聞きました。確かにシカは塩分を求めて鉄道のレールなどを舐めて来るので、醤油に誘き寄せられても不思議ではありません。が、にわかには信じ難い話でもあったため、試しに醤油を振りかけたエサを用意したところ、本当にシカがエサを食べに来たのです。しかも醤油が染みた地面まで舐めていくほどで、醤油の力を思い知りました。シカは豆類も食べるため、豆と塩を原料とする醤油に強く惹かれるようです。

地域おこし協力隊
活動誌
あなたは醤油派？
それとも味噌派？
鈴木 亮



① 醤油を塗った木を舐めに来たシカの群れ



② 醤油の上を転げ回るクマ

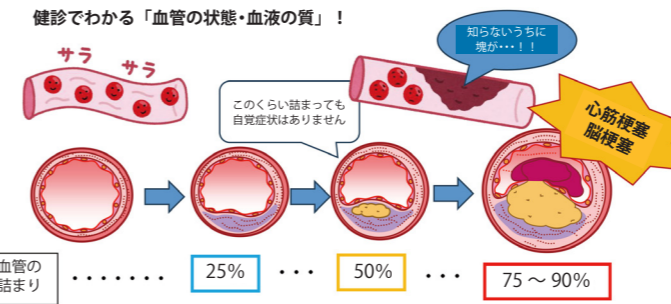
被害も発生しています。ただし、クマは味が好みというよりは「強い香りのするものが好き」なようで、持ち去った味噌樽も中身はほとんど残っていました。他にもシカの実験でまいた醤油の上を転がりまわる個体もいて、シカとは違った方向で醤油の香りがたまらないようです。
実験としてはとても興味深く面白かったのですが、この結果は「醤油や味噌を使った料理に動物が引き寄せられる可能性がある」ことにもつながります。料理は残さず食べ、動物たちが人家付近にやってくる原因を作らないようにしましょう。ゴミの量も減って一石二鳥です。

vol.110
健康で元気な毎日！
町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

令和8年度
総合健診(特定健診・がん検診)

6月19日(金)・21日(日)・22日(月)

に実施します！



健診で知っていただきたい、ご自身の体のことがあります。

血管は傷ついても痛みを感じません。そのため、健診結果（数値）から今の全身状態を確認することがとても大切です。血管の傷み（動脈硬化）が進むことで起こる心筋梗塞、脳梗塞、腎臓病などの、大きな病気を防ぐことが健診受診の大きな目的です。「悪いところが見つかったら嫌だな…」「もう年だし…」「元気だから大丈夫」と考えている方はいませんか？そんな方にこそ、健診の受診をオススメします！

血管は若返ります！

健診などで結果があまりよくない状態であっても、生活習慣の改善を行うことで、年齢に関わらず2～3年で今とだいぶ違った状態の血管に変えられるんです。健診の受診は傷んだ血管をもとに戻すための一番のきっかけになるはずです。

三島町の総合健診では以下の健診が受けられます。

- ★特定健診（40歳から74歳の方）
- ★後期高齢者健診（75歳以上の方）
- ★若年健診（18歳から39歳の方）
- ★がん検診（肺・胃・大腸・前立腺）

目に見えない部分を見る唯一の方法！ぜひこの機会に！



新刊図書のご案内

町民センターゆめぼけっと

※本の貸出し期間は2週間です。
次に利用される方のためにも、返却期限をお守りください。

☎ 公民館 ☎ (48) 5599

●今月のおすすめ

北極星 僕たちはどう働くか

●その他図書の紹介

37歳で国税に狙われた男

佐野 宗吾朗 著



働くことの本質を「投資」という視点で捉え直すことをテーマにしたビジネス書です。著者は、ブロードウェイでの経験を通じて得た知見を基に、時間の使い方や働き方の重要性を説いています。特に、消費と投資の違いや、時間を「投資」する重要性についての考え方が強調されています。また、投資には「目的地」が必要であるという原則も示されています。この本は、読者が自分の「北極星」を見つけるための思考法を提供し、働くことの新たな視点を提供します。





国環研だより 第93回 国環研ってどんなところ？

三島町のみなさま、こんにちは。4月から新たな年度が始まり、生活や環境が変わった方も多いのではないのでしょうか。私たち国立環境研究所も、本年度から新たな5ヶ年計画（第6期中長期計画）が始まり、研究や取り組みを進めています。今回は、新年度ということで、国立環境研究所がどのような研究を行っているのかを改めてご紹介したいと思います。国立環境研究所（「こくりつかんきょうけんきゅうしょ」短くして「こっかんけん」とお呼びください）では、その名のとおりに「環境」に関わるさまざまな研究を行っています。地球温暖化のような地球規模の問題から、動物や植物などの生態について、さらにはごみや化学物質といった身近な環境の問題まで、幅広い取り組みを行っています。こうした研究は、大きく5つの分野に分かれています。まず「気候変動」の分野では、地球温暖化の原因や影響、そしてその対策について研究しています。温室効果ガス（CO₂など）がどこから排出されているのかを観測し、将来の気温や環境がどう変わるのかを予測しています。また地球温暖化をはじめとした、さまざまな気候変動への対策が実際にどの程度効果を持つのかについても検証しています。

次に「資源循環」の分野では、ごみをできるだけ減らし、資源をくり返し使う社会の実現を目指しています。プラスチックや金属などを安全にリサイクルする方法や、有害な物質を適切に処理する方法について研究しています。「自然共生」の分野では、人と自然が共に生きていく社会を目指しています。生き物の多様性を守るために、動物や植物が環境の変化にどのように影響を受けるのかを調べたり、自然環境を守るための方法を考えたりしています。「安全確保」の分野では、化学物質などによる環境汚染から、人の健康や生き物を守るための研究を行っています。空気・水・土の中で有害な物質がどのように広がるのかを調べ、安全な基準や対策づくりに役立てています。そして「地域協働」の分野では、地域の方々と一緒に課題を解決するための研究を行っています。環境問題を扱うだけでなく、地域の暮らしを守りながら、よりよい地域社会をどう実現するかを、地域の方々と一緒に考えて、実践していく取り組みです。

福島地域協働研究拠点では、この「地域協働」の分野を中心に研究を進めています。研究者だけでなく、地域の方や学校、自治体と協力しながら、よりよい地域社会づくりを目指しています。

三島町では特に、豊かな森林資源をどのように守り、どのように活用していくか、脱炭素社会の実現にどう貢献していけるか、地域の皆さまと一緒に考え、取り組みを進めていければと考えています。

これらの研究は、地球規模の大きな話題だけではなく、私たちの毎日の暮らしにもつながっています。これからも「国環研だより」では、三島町での取り組みや環境に関わる研究・ニュースなどを分かりやすくご紹介していきたいと考えていますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



図：国環研が取り組む研究内容の全体イメージ（国立環境研究所 HP より）



筆者 ときわ たつひこ
常盤 達彦

国立環境研究所福島地域協働研究拠点
地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572

【参考文献】
・国立環境研究所「研究紹介」
<https://www.nies.go.jp/research/index.html>
・国立環境研究所「分野研究」
<https://www.nies.go.jp/research/domains/index.html>

町史編さん室だより

明治43年（1910）、大沼郡役所から依頼のあった米価暴落による農家の経済状況調査の回答として、西川村外二ヶ村組合（後の宮下村）は「米価ノ暴落ハ地方米穀輸入地トシテ大ニ経済ノ円滑を助ケ」とあり、米の輸入（移入）地として、米価の暴落を歓迎しているような記述が見られます。さて、米に限らず当時の物品の移出入がどうであったかを考えた時、宮下小学校『郷土誌』と未刊行『三島町近代史』には、明治45年（1912）における主な移出入品目に関する解説と表があり、当時の商習慣や移出先・移入先なども合わせてわかります。

宮下小学校『郷土誌』より
(ルビ、句読点追加)
生産物取引上ノ習慣トシテハ、繭・紫薇・人参等、年収ニカカルモノハ多数商人ノ入り込ミヲ待チ、種々掛引ノ後、一人買込ズルトキハ、一村容易ニ之ニ応ズルノ習慣アリト雖モ、未タ共同販売等ノ域ニ進マズ。用材・下駄材等ノ如キモノニ至リテハ、買ワント欲スルモノアルヲ聞ク時ハ、商人ハ再三之ニセマリテ、其価格ノ掛引ニツトメ難キモノハ懇意ノ人ヲ裁判人ニ頼ミ、強エテ買ヒ取ラザレバ、己マザルノ有様ニテ、所有者ハ頑トシテ動かズ、

第124回

西川村外二ヶ村組合における明治末の移出入品目

我意ニ合ハバ売ラント標示シアルノ情況ニテ、取引上敏活ヲ欠クノ感アリ。

未刊行『三島町近代史』より
代表的移出品目をあげると、次表のように繭を筆頭に人参、下駄材、酒など九種で金額にして約五万五千円程度になる。品目別移出先も表示した通りであるが、繭は信州、下駄材は東京、酒は大沼郡中西部方面にそれぞれ出荷されている。次に移入品目は、米をはじめ酒、雑貨、煙草、肥料など十一種、三万四千円程度となっている。これら物品は坂下、若松の間屋から卸売され、宮下の仲買、問屋の手を経て小売店や、三谷、原谷、西川、川西方面の村の店に卸された。

ただし、表の酒類に関しては、移出と移入の数量と金額が同一になっているため誤記と考えられます。当時の現三島町域における酒造りの状況を鑑みれば（今に伝わる当時の酒造業者は大登・渡部植二家のみ）、数量・金額共に移入の方が大きく、移出の方が少なかったのではないかと思われる。

(町史編さん室)

明治45年 西川村外二ヶ村組合における移出入表

移出品目				移入品目			
品目	数量	金額(円)	移出先	品目	数量	金額(円)	移入先
人参	2,140 貫	7,704	横浜	米	933 石	15,394	河沼郡坂下
用材	1,460 石	3,702	河沼郡坂下、新潟	石油	486 斗	924	若松、坂下
薪炭	70,000 貫	3,500	東京	砂糖	1,345 貫	1,352	若松、坂下
下駄材	2,750 玉	6,136	東京	塩	1,245 斗	1,121	若松、坂下
繭	642 石	21,961	信州	米利堅粉	664 貫	432	若松、坂下
製糸	75 貫	3,000	横浜	菓子類	1,830 貫	2,077	塔寺、柳津
漆汁	182 貫	1,128	若松	金肥	1,467 貫	456	若松、坂下、山都
酒類	136,493 石	4,903	大沼郡川口方面	煙草	3,500	2,100	坂下
紫薇	2,145 貫	2,681	東京	茶	1,460	1,005	若松、坂下
合計		54,715		酒類	136,493 石	4,903	坂下、大沢
				雑貨		4,020	若松、坂下
				合計		33,784	

※ 宮下小学校『郷土誌』にある表を読みやすくしたもの

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。

☎(52)2165

宮下病院からのお知らせ

宮下病院看護部からのお知らせ

4月から看護部長となりました新井田正美です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、5月12日はナイチンゲールの誕生日です。この日は看護の日とされており、宮下病院では今年も「健康まつり」を開催します。お話を聞いて頂くだけでなく、日頃の疑問等ありましたらぜひご相談ください。みなさまのお越しをお待ちしております。

☎福島県立宮下病院 ☎(52) 2321

町からお知らせ

6月分納税のご案内
【納期限 6月1日(月)】

- ▼国民健康保険(第1期)
 - ▼介護保険料(普通徴収)(第1期)
- 忘れずに納付ください。

☎町民課 町民係 ☎(48) 5555

ご寄附ありがとうございました

ふるさと納税(3月分)

寄附件数2件 計124,000円

お悔み申し上げます

五十嵐 紀子 様(82才・名入)

町の人口と世帯(4月1日現在)

人口	1,269	増 減 数	-10	出生	0
男	635		-12	死亡	4
女	634		2	転入	11
世帯	660		1	転出	17

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

滝谷和楽塾	ひまわりサロン
5月8日(金) 社会見学	5月18日(月) 午前10時から 町民センター
桧原はつらつクラブ	大登サロン
5月12日(火) 午前10時から 桧原集会所	5月19日(火) 午後1時30分から 大登生活改善センター
川井友愛サロン	ほがらかサロン
5月13日(水) 午前10時から 川井集会所	5月21日(木) 午前10時から 森の校舎カタクリ
サロンなごみ	サロンないり
5月14日(木) 午前10時から 西方ふるさとセンター	5月25日(月) 午前10時から 名入集会所
高清水・小山 いきいきサロン	大石田友遊サロン
5月15日(金) 午前10時から 高清水集会所	6月1日(月) 午前10時から 大石田集会所

◆心配ごと相談◆

5月11日(月) 福祉センター
午前9時30分から11時30分まで

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

五十嵐 陽 二 様(名入)

(一般のご寄付)

三島町戦没者遺族会 様

☎社会福祉協議会 ☎(52) 3344

愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ三島通信
で健康教室を放送中です。

5月「宮下病院の診療体制について」です。

ぜひご覧ください。



☎福島県立宮下病院 ☎(52) 2321

会津坂下警察署からのお知らせ

そのアルバイト
大丈夫? **JKビジネスかも!**

新生活も始まり、学生の皆さんは、友達や先輩からアルバイトを紹介されることがあるかもしれません。

そんな時に注意が必要なのが、「JKビジネス」と呼ばれる危険なアルバイトです。

※「JKビジネス」は女子高生ビジネスの略で、未成年の女子と「一緒に歩く」、「お茶を飲む」、「撮影に参加させる」などの名目で、大人がお金を払って接触するようなビジネスの総称として使われる言葉です。

「短時間で稼げる簡単なバイトだよ」

「客の隣りでおしゃべりするだけのバイトだよ」

「カフェで働きながら、アイドルを目指しませんか」

なんて、甘い言葉を信じたら

- 最初は言われたとおりの簡単な仕事だったのに、次第に客に身体を触られたり、性的なことを要求されるようになった。
- 客に交際を迫られたり、学校やバイトの帰り道に待ち伏せされたり、SNS等に1日数十通ものメッセージが送られるようになった。

というような被害にあうことがあります。

アルバイトをする際は、事前に内容をご家族に話し、信頼できる職場かどうかを確かめてからにしましょう。

また、こういうトラブルにあった時は、一人で悩まずに、最寄りの警察署、または性被害・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターに相談してください。

性被害・性暴力被害者のための
ワンストップ支援センター

#8891

※性犯罪・性暴力に関する相談窓口です。

※産婦人科医療やカウンセリング、法律相談などの専門機関とも連携しています。

☎会津坂下警察署警務係 ☎0242 (83) 3451

消防署からのお知らせ

山火事防止に努めましょう!

空気が乾燥して、山火事の起きやすい季節になりました。例年、冬から春にかけてのこの時期は、山火事の発生が多くなります。これは「燃えやすいもの」が林内や林縁部に蓄積されていることと、農作業が始まり屋外で火を使う機会が多くなることが要因と考えられます。

特にこの時期は、出火すると短時間に燃え広がりがりやすことから、初期の対応が遅れると貴重な森林資源を大量に焼失するばかりでなく、家屋等に被害が及ぶことや市町村境、都道府県境を越えて拡大する恐れがあります。

令和7年2月、岩手県大船渡市で発生した林野火災は、折からの空気の乾燥に加えて強風、リアス式海岸特有の急峻な地形等が災いして、瞬間に燃え広がりました。焼損面積は、市の面積の約1割に相当する3,370ヘクタールに達し、200棟を超える建物にも被害が及び、1名の尊い人命が失われています。

令和8年 全国山火事予防統一標語

「山火事を起こすも防ぐも 私たち」

林野火災の予防を目的として、令和8年1月1日から「林野火災警報等」の運用を開始しました。警報発令中に火の使用制限に従わない場合は、罰則が適用されることがあります。

また、令和8年4月1日からは「林野火災注意報」の運用を開始し、火の使用制限に従う努力義務が課せられます。

火の取り扱いには十分注意し、警報・注意報発令時は指示に従った行動をお願いします。

さっきのサイレン、どこに出動してるの?
今日の休日当番医、どこ?

会津若松消防本部管内の火災出動状況や休日当番医の担当医院がわかります。

災害情報等案内サービス

050 - 5536 - 5054

※R8.3.9に同サービスの0242-93-6119は廃止されました。かけ間違いにご注意ください

☎会津坂下消防署 三島出張所
☎(52) 3032 / FAX (52) 3033

第40回

「ふるさと会津工人まつり」開催！

「ふるさと会津工人まつり」は、全国から多くの工芸作家が集う、三島町を代表するイベントです。木工や陶芸、ガラス、布製品など、手仕事のぬくもりあふれる作品が一堂に会し、作り手と直接ふれあいつながり購入できるのが大きな魅力です。

当日は、実演や体験コーナーも行われ、ものづくりの楽しさを身近に感じることができます。また、地元の特産品販売や飲食ブースも並び、多くの来場者でにぎわいます。

自然豊かな三島町で開催される本まつりに、ぜひお越しください。

期 日	6月13日(土)・14日(日)
時 間	13日(土) 9:00～16:00 14日(日) 9:00～15:00
会 場	三島町生活工芸館前ナラ林広場
内 容	・工芸品の展示即売 ・手作り工芸品作家との体験交流 ・飲食ブース
問合せ	三島町生活工芸館 ☎(48)5502



同時開催

- てわっさの里まつり【宮下地区】
- 山と木の市場【佐久間建設工業(株)森林事業部】
- 宮下そばまつり【宮下活性化センター】
- 美しい手しごと展【宮下温泉栄光館】

町長スケジュール

5-6月

月日	曜日	予定公務
5/1	金	県中・県南・会津地区国道協議会
8	金	議会全員協議会
13	水	第47回通常総会・命と暮らしを守る道づくり全国大会
14	木	只見線利活用推進協議会総会
16	土	桐の里ウォーク
20	水	商工会総会 会津総合開発協議会本省庁要望・国会議員要望
21	木	会津総合開発協議会本省庁要望・国会議員要望
22	金	白河奥会津連携設立総会
23	土	風とロック CARAVAN 福島
27	水	奥会津地域づくり共同組合総会
28	木	全国治水砂防協会通常総会
6/4	木	議会全員協議会



▲ 桐の里ウォーク2025で開会の挨拶をする矢澤町長